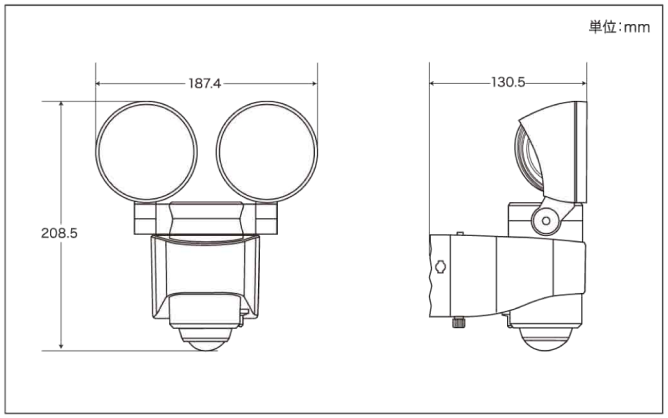
9 仕様

名称	LEDセンサーライト 乾電池式 (2灯)
検知方式	赤外線受動式
使用電源	単二形アルカリ乾電池3本 ※別売
電池寿命	8ヶ月(1日5回点灯時間10秒) ※乾電池の性能,使用条件により大幅に変わる場合があります。
光源	白色LED
点灯保持時間	約10秒～30秒(調整可能)
外来固形物に対する保護・水に対する保護	IP44 (直径1.0mm以上の大きさの外来固形物に対して保護する、水の飛まつに対して保護する)
使用周囲温度範囲	-5℃～+45℃
質量	約644g(電池、付属ブラケットを除く)
付属品	コンクリート用スリーブ2本、ネジ2本、L字金具、クランプ、蝶ナット、ブラケット

10 外形寸法図(本体) ※付属ブラケットを含む



切り取り

保証書 (持込修理)

商品名	LEDセンサーライト		★お買い上げ日: 年 月 日	
型番	LS-B244A-K	品番	07-8202	保証期間:本体1年間(お買い上げの日から)
お客様	★お名前 様 ★ご住所 電話 ( )			
販売店	★住所 電話 ( )			印
修理メモ				

見本

注)★印欄に記入のない場合は、無効となりますので、必ずご確認ください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますのでご了承ください。

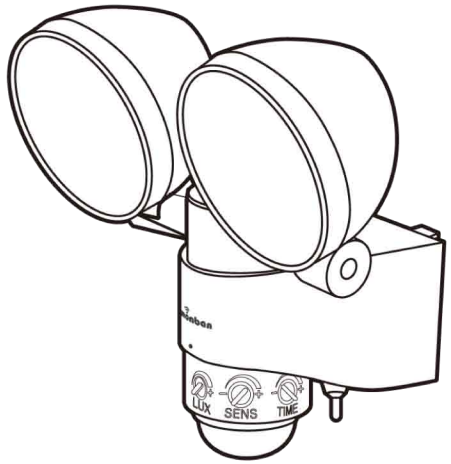
OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp
製品に関するお問い合わせは お客様相談室 へ
●通話料無料 0120-963-006 ●携帯・IP・公衆電話からは 048-992-2735
電話受付 平日 9:00～17:30 土曜 9:00～17:00 日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は 修理ご相談センター へ
電話受付 048-992-3970 平日 9:00～17:00 土・日・祝日及び年末年始は除きます

OHM ELECTRIC INC.

monban

LED 乾電池式2灯 センサーライト

取扱説明書
保証書付



もくじ

ページ
1.安全に関するご注意 …… 2
2.各部の説明 …… 3
3.電池の入れ方 …… 3
4.ライト本体の取り付け …… 4
5.本体取り付け方法 …… 5
6.センサーの動作テスト …… 6
7.センサーの調整 …… 6
8.故障かなと思ったら …… 7
9.仕様 …… 8
10.外形寸法図 …… 8
保証書 …… 8

LS-B244A-K

(商品番号:07-8202)

お客様へのお願い

この度は弊社商品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
ご使用の前に必ずこの「取扱説明書」をお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとも大切に保管し、必要なときにお読みください。

1 安全に関するご注意

製品および取扱説明書には、重要な内容の記載があります。それは、お使いになる方や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくためです。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みいただき、記載事項を必ずお守りください。

図記号の説明

- ⚠警告「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
- ⚠注意「損害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

表示の説明

- 🚫は、してはいけない「禁止」内容です。
- ❗は、必ず実行していただく内容です。

⚠警告

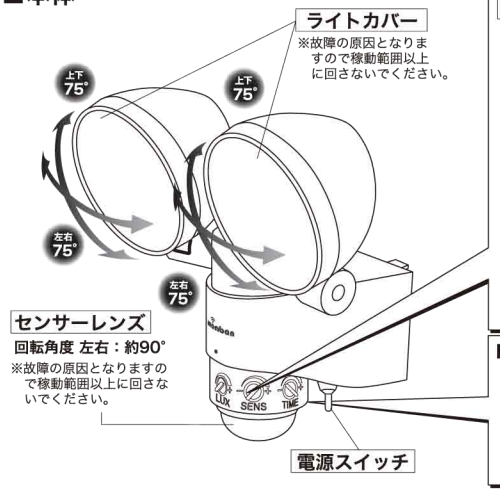
- ❗守る **本体の取り付けはこの取扱説明書に従い、確実におこなってください。**
- 🚫禁止 **本体は水平に取り付けてください。斜めや逆さまに取り付けると正しく検知が出来ない事があります。** また雨水が入り故障の原因となります。
- 🚫禁止 **本体を大量の水がかかる場所に設置しないでください。** 通常の雨や風には耐えますが、防水タイプではありません。
- 濡れ手禁止 **乾電池を交換する際は濡れた手で本体に触れないで下さい。** また本体が濡れている場合も触れないでください。
- 🚫禁止 **点灯中のライトを直視しないでください。** 視力に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- 🚫禁止 **布や紙など燃えやすい物の近くに取り付けないでください。** 火災の原因になります。
- 分解禁止 **分解・改造をおこなうと保証の対象外となりますのでお止めください。**

⚠注意

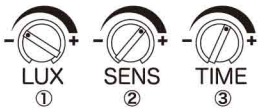
- 本機は人を検知した時にライトを点灯させる機能を有しておりますが、侵入・盗難を確実に阻止するものではありません。万一発生した損害につきましては責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 気温・気圧等の気象変化によりセンサーがまれに誤動作することがありますが故障ではありません。
- 電池残量が少なくなると、ライトが暗くなったり、点灯しなくなったり、また点滅することがあります。その場合は電池交換をおこなってください。
- 電池は正しく使用しないと液漏れ・破裂・発熱などの原因となりますので以下の取り扱いにご注意ください。
  - ・電池は＋－方向を正しく入れてください。
  - ・古い電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
  - ・長期間使用にならない場合は電池を取り外してください。
  - ・電池は充電しないで下さい。
  - ・電池のアルカリ液が目に入ったり皮膚や衣服に付着した場合は失明やケガのおそれがありますのですぐに多量のきれいな水で洗い流し、医師の診断を受けてください。
- 電動シャッターなど電波を利用する機器の近くで使用しないでください。故障・誤動作の原因となります。
- モーターなど磁場が発生する機器の近くで使用しないでください。故障・誤動作の原因となります。
- ガス機器や排気口など、温度の高くなるものの上に取り付けをしないでください。
- 落下・故障の原因になりますので必ず付属品または別売り品を正しく使用してください。
- 本体のお手入れは柔らかい布で乾拭きするか、薄めた中性洗剤を含ませ固く絞ってから拭いてください。
- 本体の取付ネジやクランプは半年に1〜2回を目処に、ゆるみやガタつきがないか点検してください。
- ライトの明るさや光の色に違いが出る場合がありますが商品の特性上ご了承ください。
- LEDの交換はできません。
- 仕様及び外観は予告なく変更する場合があります。

2 各部の説明

■本体



調整ダイヤル

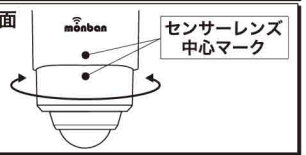


① **「LUX」（点灯開始照度調整ダイヤル）**
周囲が暗い時だけ検知（–）〜周囲が明るい時にも検知（+）するよう調整できます。

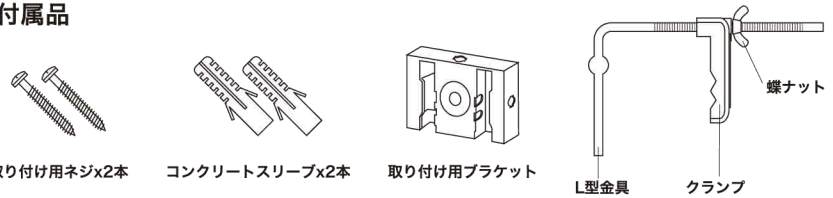
② **「SENS」（点灯開始距離調整ダイヤル）**
人が近くにいる時だけ検知（–）〜人が遠くにいる時にも検知（+）するよう調整できます。

③ **「TIME」（点灯時間調整ダイヤル）**
点灯時間を短く（–）〜長く（+）するよう調整できます。

■本体正面



■付属品

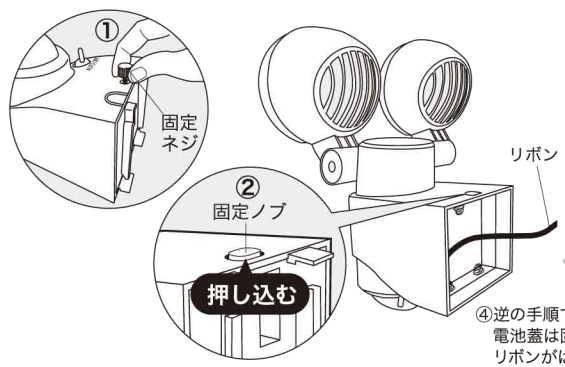


3 電池の入れ方

①電池蓋を取り外します。まず固定ネジを緩め取り外し、

②そのあとに固定ノブを押し込みながら電池蓋を引っ張ると外れます。

③電池ケース内の+-表示を確認して、**単2形アルカリ乾電池を3本**セットします。リボンは下側に敷くように這わせて電池を組み込みます。電池の通電部にはさまないようにご注意ください。
(参考)組み込んだ電池を取り外す際に、リボンの端を引っ張ると容易です。



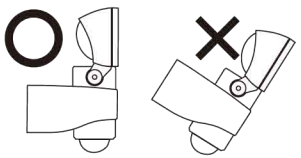
④逆の手順で元通りに戻します。
電池蓋は固定ノブを押しながら組み込んでください。
リボンがはみ出ないように収納してください。

4 ライト本体の取り付け

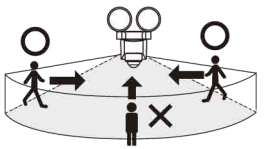
⚠ 取り付け注意

次のような場所に取り付けるとセンサーが周囲の明るさと温度変化を感知して誤動作や動作しないことがあります。

本体を傾けて取り付けないでください。
検知機能が正常に動作しなくなったり、内部に雨水が入り故障の原因になります。

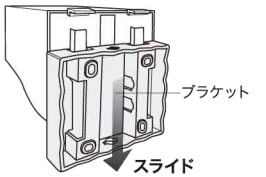


本体に対して人が横切るような場所に取り付けて下さい。本体正面に対して直進するとセンサーの特性上、検知しないことがあります。



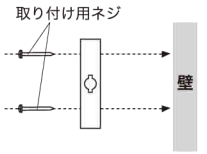
5 本体取り付け方法 ⚠ 万一落下しても事故が起こらない場所を選んでください。

①ブラケットを本体から取り外します。
ブラケットを下にスライドしてください。

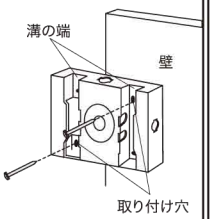


②取り付け方を選択します。

(a)ネジで取り付け



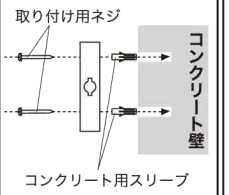
ブラケットを付属のネジを使用して地面に対して垂直な壁に固定します。



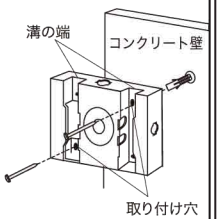
・図のようにネジ2本を対角に取り付け、ブラケットを固定します。

ブラケットは溝の端が開いている側を上にしてください。
※取り付け向きを間違えると本体が正しく装着できません。

(b)コンクリート壁への取り付け



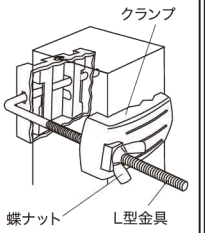
・先にドリルで直径6mm、深さ30mmの穴を開けます。
・そこへ付属のコンクリート用スリーブを打ち込みます。



・図のようにネジ2本を対角に取り付け、ブラケットを固定します。

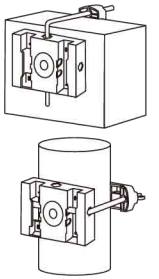
ブラケットは溝の端が開いている側を上にしてください。
※取り付け向きを間違えると本体が正しく装着できません。

(c)クランプで柱などに挟んで取り付け

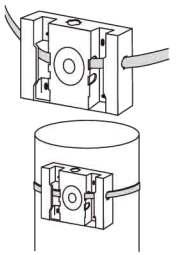


柱の厚さは最小約30mm、最大約120mmまで取り付け可能

・ブラケットの通し穴にL型金具を差込み、90°回転させ抜けないようにします。
・クランプをL型金具に通し、蝶ナットで締め付けます。



(d)市販のステンレスバンドによる取り付け



・ブラケットの通し穴にステンレスバンドを通し、角柱・円柱に巻きつけます。
・ステンレスバンドのつまみを回して締めていきます。

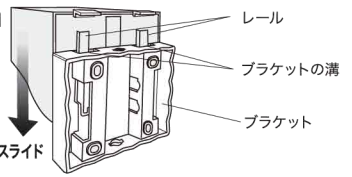
※市販のステンレスバンド幅10mmまで使用できます。

※市販のステンレスバンドを使用しての本機の破損や落下などの事故の保証はありません。

※ステンレスバンドを使用する柱には傷が付く場合があります。

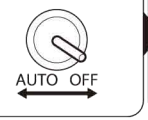
※円柱に取り付けの場合、縦の円柱には取り付けできますが横の円柱には取り付けないで下さい。
本体の重みで回転してしまう可能性があります。

**③本体背面のレールをブラケットの溝の端から差し込んでください。
本体の取り付けは完了です。**



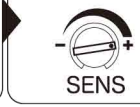
6 センサーの動作テスト

①電源スイッチが「OFF」側であることを確認



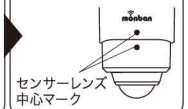
②「明暗」(点灯開始照度調整ダイヤル)を「✚」に回す

③「距離」(点灯開始距離調整ダイヤル)を「✚」に回す



④「時間」(点灯時間調整ダイヤル)を「ー」に回す

⑤センサーレンズマークを中央に合わせる

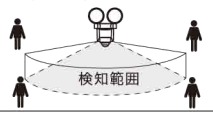


⑥へ

⑥電源スイッチを「AUTO」側にする

⑦ウォーミングアップ点灯(約60秒)

⑧ウォーミングアップ中は検知範囲から出る、またはセンサーレンズを黒い布などで覆い消灯するまで待つ。

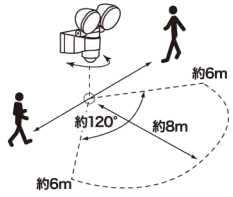


⑨そのあと検知エリアを横切るように歩き、ライトの点灯を確認しながら最適な検知エリアとなるよう、センサーレンズを調整してください。

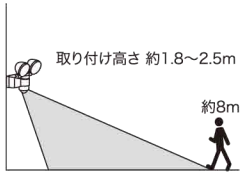
検知エリア

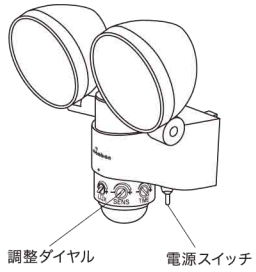
高度：約1.8～2.5m、検知距離：最大約8m(中央)。角度：約120°
※角度はセンサーレンズを回すとセンサーレンズ中心から左右約90°の範囲で検知エリア回転させることが出来ます。

[平面図]検知エリアを上からみた図



[側面図]検知エリアを横からみた図





⚠検知エリアに関するご注意

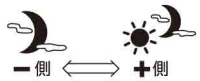
- ●検知エリアは目安です。気温・服装・移動速度・侵入方向・体温・器具の取り付け高さなどにより大きく変動します。
- ●センサーは検知エリア内の温度変化を検知しますので人以外の動物や車などが移動した場合も検知します。
- ●夏場の周囲の温度が高く、人の体温との差が小さいとき探知しない場合があります。
- ●検知エリア外でも人より大きい熱源(車など)が移動したとき検知する場合があります。
- ●センサーライトの真下は検知できない場合があります。

7 センサーの調整

調整ダイヤルを調整します。

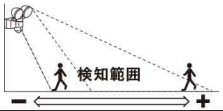
「LUX」ツマミによる調整

⇒周囲が明るい時は消灯、
暗い時だけ検知：ー側に調整
⇒周囲の明るさに関係なくセンサー検知範囲内に入ると点灯：✚側に調整



「SENS」ツマミによる調整

⇒人が近くにいる時だけ検知
：ー側に調整
⇒人が遠くにいる時にも検知
：✚側に調整



「TIME」ツマミによる調整

点灯時間を短く(ー側：10秒)～長く(✚側：30秒)するよう調整できます。

※点灯中に再度検知した場合、点灯時間が延長されます。

8 故障かなと思ったら

現　象	考えられる原因	処　置
ライトが点灯しない	・電源スイッチがOFFになっている	電源スイッチをAUTOにしてください。
	・電池が入っていない。または電池の接続方向が間違っている	電池の+-を正しくセットしてください。
	・乾電池の電圧が低下している(電池寿命)	新しい電池に交換してください。
	・点灯開始照度調整よりも周囲の方が明るい	"LUX"ダイヤルを+側に回し調整してください。
	・検知エリアの設定が適切でない ・センサー部に向かって直進している ・センサーレンズが汚れている	取り付け位置を変更するか、検知エリアの調整をやり直してください。「6 センサーの動作テスト」「7 センサーの調整」をご参照ください。
	・センサーレンズに蒸気や雨などの水滴が付いている ・寒いときや雨降りのときに人がマフラーや傘などで覆われている ・夏場で周囲の温度が高く、人の体温との差が小さい ・非常にゆっくりした速度で検知エリアを移動した	センサーは検知エリア内の温度変化を検知しますので、左記の場合は検知しづらいことがあります。
	・検知エリアが遮られている	センサーの前に壁やガラスがあると検知出来ません。取り付け位置を変更するか、検知エリアの調整をやり直してください。
ライトが点灯したまま消灯しない	・検知エリア内および周囲に誤動作源がある (例)他の照明器具、洗濯物、犬や猫、植木、エアコン吹き出し口 ガス給湯器、強い無線ノイズ、車の熱やヘッドライト ・検知エリアが道路にかかっており、通行する車や人に反応している	誤動作源を取り除くか取り付け位置を変更、及び検知エリアの調整をやり直してください。
ライトが昼なのに点灯する	・点灯開始照度調整よりも周囲の方が暗い	"LUX"ダイヤルを-側に回し調整してください。
点灯回数が少なくなった	・乾電池の電圧が低下している(電池寿命)	新しい電池に交換してください。

メモ

・切り取り・

無料修理規定

1.取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ、無料修理いたします。
2.保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
（イ）使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障及び損傷
（ロ）お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障および損傷
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛り等による故障及び損傷
（ニ）消耗または摩耗した部品、付属品の交換
（ホ）本書のご提示がない場合
（ヘ）本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売シールや領収書でも未記入事項の代用となります)
（ト）本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
（チ）一般家庭用以外(例：業務用、または業務に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3.ご贈答、ご転居等で本保証書に記入のお買上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4.本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
5.本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

紙